

ひだか 議会だより

HIDAKA GIKAI DAYORI

第197号

令和7年1月31日



表紙紹介はP18

***特集 新年の抱負を聞きました**.....14P~16P

行政報告(要旨)



松岡一宏 村長

日高村制70周年
記念式典

日高村制70周年記念式典が、10月20日に日下小学校体育館で行われ、多くの来賓や表彰者、セレモニー出演団体などの参加により、心に残る素晴らしい式典を開催できた。

式典では、功績のあった方や団体に対し、「日高村表彰」「村制施行70周年記念功労表彰」を開催した。

記念セレモニーでは、歌手のリベットボタンさんと保育園児の歌と踊りや、16年ぶりとなる地元日高よさこいチームによる「日高よさこいブギウギ」が初披露され、ステージと会場が一体となり盛り上がった。

サンシャイン

日高店が閉店

サンシャイン日高店が閉店し、その後も話し合いを継続しているが、大きな動きはない。村に話のあった1業者をサンシャイン本部とつないだが、進展はないようである。

また、県の企業誘致の希望調査には一番にスーパーマーケットを挙げ回答した。

買い物支援バス運行

サンシャイン日高店の閉店に伴い、買い物支援の送迎バスを運行している。

利用者の意見をお聞きし、改善しながら運行を続けている。

いの町方面の利用状況は、ほぼ満員の状態で運行し、今年度いっぱい継続する。

来年度以降は、デマンドバスを巡回型で運行し、対応していきたい。



日高村表彰及び村制施行70周年記念功労表彰の受賞者の皆さん

日高村交流拠点施設

※「ARUMO410」

10月から一般社団法人日高村観光協会が、指定管理者として運営する日高村交流拠点施設「ARUMO410」が、11月28日にリニューアルオープンした。

喫茶部門を合わせた施設とし、広く村民にも利用できるように、メニューも工夫を凝らし飲食を提供する。この施設を拠点に、新たな観光や関係人口の創出だけでなく、村民に親しみやすい施設となることに期待をする。

※「OMURA」を逆さ読みして「ARUMO(アルモ)」日高村の市町村コード410



「村の駅ひだか」10周年を祝うくす玉開披

「村の駅ひだか」
10周年を祝う

11月30日、12月1日に「村の駅ひだか」10周年まつりが開催された。

初日は、くす玉開披による記念セレモニーが行われ、2千300個の餅投げ、小学生以下にお菓子セットが配布された。

会場では2日間、お祝いのマルシェやステージが行われ、大道芸やマウンテンバイク、「日高よさこいブギウギ」なども披露され、終始多くの方で賑わった。

江尻地区親水公園 プレオープン

10月11日に江尻地区親水公園がプレオープンした。仁淀川流域におけるインフラ施設周辺の観光資源と連携することで、利用者の増加と地域の活性化につながることを期待している。

親水公園には、小さな子どもが遊べる遊具広場やじゃぶじゃぶ池、遊歩道などが完成した。

住生活月間 功労者表彰を受賞

民間ノウハウを活用するPFI事業を用いて、村の負担軽減を図った能津地区地域優良賃貸住宅整備事業が国土交通省住宅局から住生活月間功労者表彰、住宅局長表彰を受賞した。

この事業は、子育て世帯のニーズに配慮した性能を備える地域優良賃貸住宅を整備し、若者や子育て世帯が安心して暮らせる地域づくりを推進したことが評価された。

日高村営改良住宅 建替事業

11月25日、「日高村営改良住宅建替事業」の事業者選定のプレゼンテーションが実施され、優先交渉権事業者が決定した。

PFI事業を用いて実施し、昭和56年以前に整備され耐震性の低い西ノ越団地、西田地区の第1団地A・B、第2団地A・B、第3団地の建て替えを行う。

今後は、優先交渉権事業者と基本協定の締結後、特別目的会社(SPC)を設立し、事業契約を締結(仮契約)する。

日下川が 特定都市河川に指定

日高村は、河川の整備等と併せて、水害に強い地域づくりを目指し「特定都市河川浸水被害対策法」に基づく「特定都市河川」及び「特定都市河川流域」の指定に向けた手続きを進めている。

12月3日には、日下川が



ひだか茂平リレーマラソン
ランナーが一斉にスタート

ひだか 茂平リレーマラソン

特定都市河川に指定されることが決まった。

今後は、国、県、関係市町村などから構成される「流域水害対策協議会」を組織し、浸水被害対策を流域一体で計画的に進める「流域水害対策計画」の策定を進め、施行は令和7年7月を予定している。

11月24日、昨年に引き続き、ひだか茂平リレーマラソンを開催した。約730人のランナーが、日高村の日下川調整池周辺を、工夫を凝らしたトマトや忍者のコスチューム等で駆け巡った。

それぞれのチームにとって、親睦を深め、思い出に残る1日となった。



江尻地区親水公園プレオープン
日下保育園児の歌と踊り

審議したこと 決まったこと

R6.12.6～12.12

令和6年第4回定例会

12月議会では、承認1件、条例関係1件、予算関係4件、その他1件、議員提出議案2件、計9議案と陳情2件の合計11件が決まった。

審議したこと
決まったこと

予算

◎令和6年度日高村一般会計補正予算(第5号)

質疑

問 流域治水まちづくり計画基礎調査の内容と委託先はどこか。

答 来年度から流域全体の土地の利用状況を事前調査する。併せて総合振興計画に、流域治水まちづくりの計画を位置付ける。事前の調査等で、打ち合わせしている日本工営都市空間(株)に委託を想定している。

問 光ケーブル網の屋外拡声スピーカー機器更新委託料は全部を取り替えることか。

答 この事業は、当初予算で計上している。今回の補正予算は仁淀消防との機器の拡充、サイレンの音を作る事業で940万円計上している。

問 江尻親水公園の管理はどこが担当しているか。建設課が行っている。

問 非常備消防費の修繕料143万円は何を修繕するのか。

答 沖名の消防車がエンジンの調子が悪いので、修繕費用を計上している。

◎令和6年度日高村後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)

問 特別徴収保険料、普通徴収保険料の増額となった理由は。

答 被保険者数が増えている状況を踏まえての増額補正で、団塊の世代が75歳に移行していくことを見込んでいる。

その他

◎日高中学校プール改築工事の契約(第1回変更)の締結について

質疑

問 契約金額の増額理由に掘削残土処理があるが、当初から残土処理が含まれてなかったのか。

答 掘って土を見て使用できるかどうかを検討するということで、当初には入れてなかった。

問 工期を令和7年3月31日に変更しているが、年度内に完成ができる工期設定になっているか。

答 年度内に完成の予定である。



江尻浸水公園で行われた清掃活動イベント

決まったこと

請願・陳情

◎望ヶ丘団地自治会 陳情書

提出者

望ヶ丘自治会長

採決 全員賛成 善積 志朗 採択

◎臓器移植に関わる不正取引、非人道性が疑われる国への渡航移植等を防止するための法整備等を求める意見書提出の陳情

提出者

一般社団法人 中国における臓器移植を考える会

代表 丸山 治章 採決 全員賛成 採択

◎学校の業務量に見合った教職員配置、長時間労働を抑制するため、教員に残業代を支給可能とする給特法の改正、新たな職の創設に対して、慎重審議を求める陳情

提出者

高知県教職員組合 執行委員長 細木 久義 採決 賛成少数 不採択

第4回定例会議案・発議案と賛否

○：賛成 ●：反対

議 案 ・ 発 議 案		議 員 名										議決結果
条 例	村税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長 可決
補正予算	一般会計(専決)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長 承認
	一般会計、国保、介護保険、後期高齢者医療	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長 可決
そ の 他	日高中学校プール改築工事の契約(第1回変更)の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長 可決
陳 情	臓器移植に関わる不正取引、非人道性が疑われる国への渡航移植等を防止するための法整備等を求める意見書提出の陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長 採択
	学校の業務量に見合った教職員配置、長時間労働を抑制するため教員に残業代を支給可能とする給特法の改正、新たな職の創設に対して慎重審議を求める陳情	●	●	●	●	○	●	○	●	●	○	議長 不採択
意 見 書	臓器移植に関わる不正な臓器取引、移植ツーリズム等を防止するための法整備等を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長 可決
	教員配置のあり方を見直し、学校現場への配置を優先するよう求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長 可決



12月24日、第2回臨時会
が開催され、議案8件が可
決された。

第2回
臨時会

第2回臨時会議案・発議案と賛否

○：賛成 ●：反対

議 案 ・ 発 議 案		議 員 名										議決結果
条 例	村長等の給与条例の一部改正、一般職の職員の給与条例の一部改正、日高村議会の議員に対する期末手当支給条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長 可決
補正予算	一般会計、国保、介護保険、簡易水道事業	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長 可決
そ の 他	日高村営改良住宅建替事業の契約締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長 可決

審議したこと

決まったこと

第2回臨時会

閉会中の委員会活動報告

総務常任委員会



委員長 大川内慎治

11月26日(火)午前10時より

デマンドバス運行の見直しについて調査研究を行った。

周遊バスとデマンドバスを合わせた新しい地域公共交通として見直しを行う。事前予約なしの周遊バスを基本にバス停を整備し、予約時のみ乗れるサブバス停を集会所等に整備をする。スマホのラインアプリから予約でき、バスの走行位置がアプリ上に表示されるようになる。



周遊バス予約をラインアプリできるようシステムを開発(利用者画面イメージ)

ルートは、加茂中学校から国道33号を通りJR伊野駅を往復と、役場から沖名産業郷土資料館を折り返し奥ノ谷・中村・江尻・JR伊野駅を往復する2コース

を1日2往復で実施しますが、実証運行により見直しも行い4月からの本運行を目指している。
※能津地区については別途デマンドバスを運行する。

経済建設厚生
常任委員会

委員長 藤原利彦

11月28日(木)午後1時30分より

継続審査としていた望ヶ丘団地自治会からの陳情書について調査研究を行った。

望ヶ丘自治会から出されていた擁壁復旧工事の要望については、崩落箇所が村



望ヶ丘擁壁崩壊現場

道に掛からないため、防災対策補助金の対象には当たらない。そのため今後の方針として、擁壁については民地になるため、所有者が費用を一部負担する必要がある、復旧工事と崩落予防の水抜き穴設置工事費用は村と所有者負担となる。
分担率は所有者の所得によって変わる。補助の対象となるのは、県の指定を受けた日高村大規模盛土造成地のみとする。今後のスケジュールとしては年内に、崩落現場対象者への説明会を開き、また、第2次スクリーニング調査を実施する説明会も行いう予定である。

日高村治水対策 特別委員会



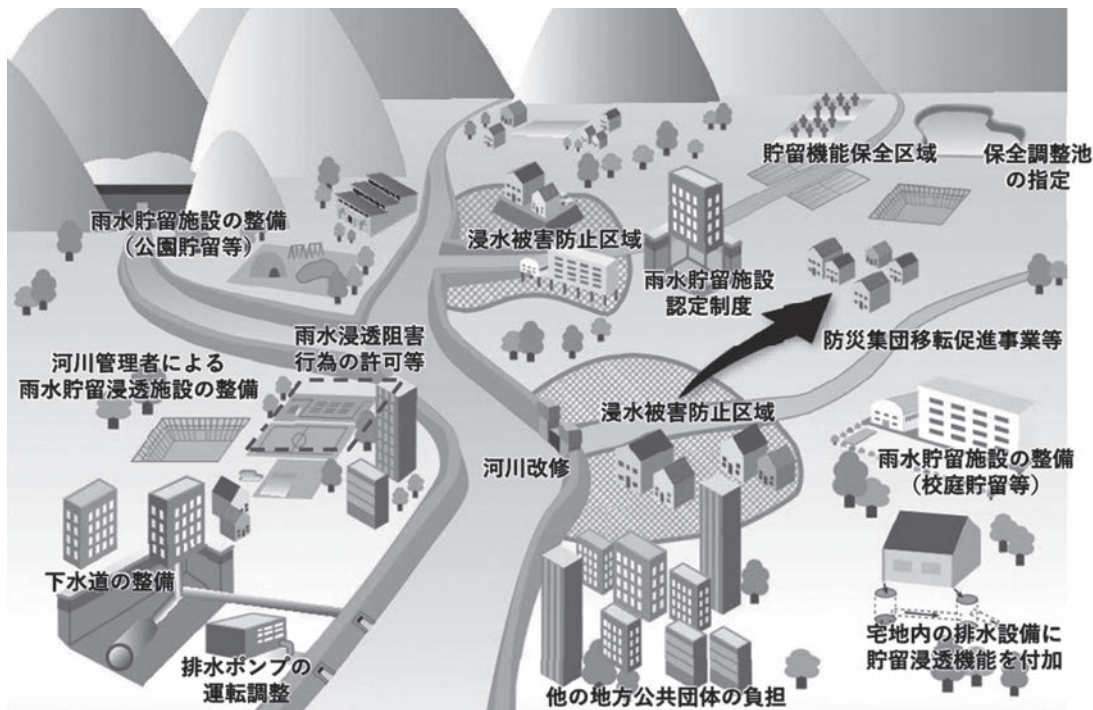
委員長 大川内慎治

11月28日(木)午後3時より

特定都市河川の指定について調査研究を行った。村は日高村水害に強いまちづくり条例を、より実効性のあるものにするため、日下川及びその流域について特定都市河川の指定を受ける。

これにより、雨水の浸透を阻害する1千㎡以上の開発については、現在の届け出・助言・勧告から許可制となる。違反した場合には6カ月以下の懲役または30万円以下の罰金を科せられることになるが、雨水貯留浸透施設等を整備する際に、国の交付金や補助金が受け

られるメリットがある。



特定都市河川流域におけるハード・ソフト対策イメージ

日高村少子化対策 特別委員会



委員長 森下雅文

9月18日(水)午前10時より

企画課長補佐より、企画課所管の子育て支援事業、及び県による基本配分型と提案型の人口減少対策総合交付金の活用方向について、説明を受けた。

他に、村民への移動支援や宅地開発、空き家の活用、パートナーシップ等について、意見を交換した。

11月5日(火)午後1時30分より

保育園児の保護者を対象に行った少子化対策アンケートの回答と、意見の取り扱いについて協議した。明らかにした課題に対する考えを担当課長から聞き

取ることとした。村内の31件の空き家について意見を出し合い、活用の可能性について協議した。

11月19日(火)午後1時30分より

島根県飯南町で、少子化対策と子育て支援等について視察研修した。

出会い・結婚から子育てまで、きめ細かな支援を行い、若い移住者が増えている。将来的に譲渡される住宅も人気があるとのことであった。

11月20日(水)午前9時より

島根県奥出雲町で視察研修を行った。

移住定住対策、関係人口創出事業、子育て支援、結婚支援の取り組みについて説明を受け、質疑を行った。

各種証明書の記入手続きの手間を省く「書かない窓口」



西村玲子議員

一般質問に6氏が立つ



「書かない窓口」の導入を進めている役場

質問 デジタル化を推進している村で、マイナンバーカード、運転免許証で職員の負担も少なく、また住民の皆さんの負担軽減となる「書かない窓口」の導入を。

答弁 松岡村長

早急に進めたい事項であり、積極的に取り組む。

庁舎に銀行のATM設置を

質問 サンシャイン日高からATMが撤去され、多くの住民から「不便になった。本当に困る」との声がある。設置を要望するが。

答弁 山崎総務課長

金融機関にATM窓口の再設置の方向性で依頼しており、12月末の回答を待っている。

村立小中学校の洋式トイレの状況

質問 各家庭では、便座シートや保温仕様のトイレで環境も改善されたが、学校のトイレは便座が冷たい。

子どもたちがトイレを我慢する状況。また体調管理のためにも、水拭きや除菌もできる便座シートの導入を。

答弁 森下教育次長

保温便座以外の便座のシートの導入は、話し合い検討する。

質問 日下小学校のトイレ改修につき、清潔で掃除もしやすい乾式化の計画を。

答弁 森下教育次長

乾式化を計画している。感染症対策、衛生面の向上、水道及び電気代削減につながる。

脳トレアプリ健康診断時に導入を

質問 日高村の高齢化率は、

答弁 藤岡健康福祉課長

令和6年11月末現在42・83%。

質問 専用アプリを使いタブレット端末で、認知機能を測る脳トレゲームを、健康診断時に導入を。また、VRゴーグルをのぞき、音声案内で検査ができるVR機器の導入は。

答弁 藤岡健康福祉課長

県では、高知家フレイルチェッカーというアプリを作成し、認知、脳トレ機能もあり、5分でフレイル状態が分かる。

VRは、県外の導入市町村の内容、効果を研究する。

避難所の環境改善国際基準の「スフィア基準」について

質問 政府は、被災者には尊厳ある生活を営む権利支援を受ける権利、苦痛を軽減するため、実行可能な手段を尽くすといわれ、災害時の1日は平時の1日と違い、生死に直結する。村のスフィア基準と取り組みは。

答弁 谷脇総務課参事

避難所のスペースの確保や簡易・携帯トイレなどさまざまな物を備蓄している。普段から地域の防災訓練を重ね、村も住民と一緒に日高村版スフィア基準に取り組む。住民の日頃の備えの協力を。

※被災者の権利と被災者支援の最低基準を定めた国際基準

農業関係



藤原利彦議員

質問 ライスセンターの存続について。

答弁 松岡村長

存続の必要性を考えて補助金を出している。現時点では継続してもらわないと困る施設で、J Aによると購買、販売、金融については統廃合が進んでいるが、ライスセンターの統廃合の話はないとの答えをいただいている。

質問 ライスセンターへの応援は。

答弁 松本産業環境課長

大規模な施設改修の必要性が生じる等の需要が

発生した際には、活用できる補助金等を検討していく。

質問 農業資材高騰に対する補助金はないか。

答弁 松本産業環境課長

令和5年度には、物価高騰対策支援事業補助金として730万円の補助実績がある。今後も活用でき

る交付金があった場合は、その都度検討していく。

質問 今後ハウスを建てる場合、治水条例によって難しくなるのでは。

答弁 西村建設課長

ハウス内を舗装やローラーなどで締め固める面積やハウス等を建てる面積が1千㎡以上となる場合、浸透対策や貯留対策の届け出が必要となる。今後、そのような話があれば、関係機関と十分協議をしながら対応していく。



シーズンオフのライスセンター

デマンドバス



村内を巡るデマンドバス

質問 デマンドバスの複合的なサービスの提供は。

答弁 前田企画課長

デマンドバスを周遊バスにした上でラインアップで予約できるシステムを開発している。さらにロケバスシステムを導入して運行の見える化等でバスの利便性を求める。

複合的なサービスの提供については、先進事例を研究しながら、住民に寄り添ったサービスの提供に取り組んでいく。

単身高齢者の居住

質問 単身高齢者の適切な居住誘導について。

答弁 松岡村長

来年度からまちづくりと治水を絡めたまちづくり計画を策定していく中で、特定都市河川の指定により補助できるところは補助し、住宅地の開発、集合住宅等の確保に努めていく。

村の防災対策は



森下雅文議員

学校体育館に エアコンを

質問 政府は避難所の環境改善に向けて、地方創生交付金の一部を使えることにした。避難所に指定



被災地域で活躍するドローン

されている学校体育館へのエアコン設置などを、来年度に向けて検討できないか。

答弁 松岡村長

体育館の構造に断熱仕様のものとか、厳しい条件がある。補助対象になるかを含め、しっかりと検討したい。

ドローン関連業者と 連携協定の締結を

質問 被災した地域でのドローンの役割が注目されている。だが消火活動などでヘリが低空を飛ぶようになると、被災地上空は緊急用務空域に指定され、ドローンの飛行は禁

止される。しかし、ドローン事業者と村が事前に連携協定を結んでおくことで、速やかに活用できる。検討してはどうか。

答弁 谷脇総務課参事

ドローンは防災時孤立した集落への物資を輸送する有効な手段であり、精査して検討を進めたい。

水道管の 耐震化推進を

質問 国の水循環基本計画では、災害時の拠点に接続する水道管の耐震化を点検し、結果を踏まえて各自自治体で年度内に耐震化計画を策定・更新して、

耐震化を進めるとのことだが、日高村での見通しはどうか。

答弁 西村建設課長

重要施設に接続する配水本管及び支管の耐震化計画を策定中であり、令和7年1月末までに仕上げたい。

不登校の状況は

質問 全国では、不登校の児童・生徒が過去最多を更新しているそうだが、村内の状況と対応はどうか。

答弁 中嶋教育長

不登校傾向を含め数人いる。常に保護者や本人と連絡を取り、状況を把握して教育支援室等と連携し、「もへや」の活用やリモート授業など、個々の状況に応じた対応をしている。

パートナーシップ 制度の導入を

質問 近隣でも、この制度の導入を検討している自治体が増えていく。社会的な需要度は高まっているではないか。導入して

はどうか。

答弁 松岡村長

担当課に、導入に向けた研究を指示している。いつとは決めていないが、前向きに検討したい。

江尻親水公園活用は

質問 当初パークゴルフ場併設の構想もあったが、今後どのような活用を考えているか。

答弁 西村建設課長

県の、小さな集落活性化事業を活用して、地元団体とも協議しながら検討していきたい。

ハラスメント 防止条例は

質問 いの町をはじめ、ハラスメント防止の条例制定を検討する自治体が増えたが、日高村ではどうか。

答弁 山崎総務課長

近隣自治体の状況や村内・役場内の状況を精査し、住民を守る・職員を守る観点から、鋭意検討したい。

買い物支援バス

利用状況は



森下芳文議員

答弁 前田企画課長

すべての意見に応えるのは困難だが、買い物時間、駐車場所など、可能な範囲で対応している。

スーパーの再開は

質問 スーパーの再開の見通しは。

答弁 松岡村長

現時点で進展はない。県の方に企業誘致の希望調査では、スーパーマーケットを一番に回答している。

ATMの再設置は

質問 予測はしていたけれど、実際なくなってみると不便極まりない。事後対策は。

答弁 山崎総務課長

現在2つの金融機関にATM窓口再設置の依頼を文書で行い、回答を12月下旬に見込んでいる。

移住・定住の マイナスイメージ

質問 スーパーがない。ATMがない。いずれも移住、定住政策のマイナスイメージになっても、プラスには働かない。

村を挙げて取り組む熱意が求められるが。

答弁 松岡村長

相手のあることなので、時期の明言は控える。

橋梁点検

質問 今回の点検内容に南海トラフ地震に対する強度点検は含まれているか。

答弁 西村建設課長

現在やっている点検は、南海トラフ地震というよりは、通常の目視点検という形だ。そこまでの内容にはなっていない。



橋梁点検を行っている正岡寺橋



サンシャイン佐川行き買い物支援バス

移住・定住支援の強化を



大川内慎治議員

質問 民間賃貸住宅の誘致についての取り組み状況は。

答弁 藤田副村長

資材の高騰などにより建築費が高額となり難し

空き家、募集中

日高村では、空き家バンクに登録する空き家を募集しています。

日高村へ移住を希望する方、
仕事で日高村へ引っ越す方、
子どもの成長に合わせて引っ越したい方、
空き家を求めている方がいます。

貸したいひと

①日高村役場企画課へ問い合わせ
②登録申請書を役場へ提出
③見学希望者から連絡があれば見学の対応や、詳細を説明
※お互いの条件が一致したら契約可

**日高村
空き家バンク**

借りたいひと

①日高村移住専用ホームページで「住む」を閲覧
②利用申請書を役場へ提出
③見学したい空き家があれば役場へ連絡
※お互いの条件が一致したら契約可

村内の空き家を「空き家バンク」に登録しませんか。

お気軽に
お問い合わせください

※契約については当事者同士で行っていただきます。
村は、ホームページの掲載と連絡調整のみを行います。

【お問い合わせ】日高村役場 企画課 移住相談担当 ☎0889-24-5126
✉: kikaku@vill.hidaka.lg.jp

日高村空き家バンク

いとの話で進んでいない。
水害に強いまちづくり計画において、開発しやすい状況づくりに取り組んでいく。また、県の人口減少対策総合交付金を活用した集合住宅等の建築費に対する補助金も検討している。

答弁 松岡村長

民間力を活用した一体的な支援体制などに力を入れることも必要と考えており、先進事例も参考に検討していく。

質問 移住・定住希望者に対する居住の確保についての取り組みは。

答弁 前田建設課長

村が空き家を借り移住希望者などに貸す「中間保有住宅」の取り組みは、これまで23件の実績がある。日高村空き家バンクなどへの登録も含め、空き家の利活用について啓発していく。

質問 人口減少・少子化問題への対応策について、どのように考えているか。

答弁 松岡村長

人口減少・少子化問題については、非常に重要な課題であり、就任後すぐに保育料の無償化を実現した。

今後も職員の意見もしっかり取り入れ、県の交付金なども活用した施策を推進する。

水道耐震化について

質問 能登半島地震を受けた実施された重要施設に接続する水道の緊急点検結果は。

答弁 西村建設課長

今回の国の緊急点検は、まだ重要施設を定めてないため、重要施設に接続する水道管路の耐震化率は0%と報告している。

送水管で耐震性を有しているのは江尻配水池への管路のみで、それ以外は軟弱地盤が想定される村の管路を考えると、管の継手材において耐震性が確保されていないと判断せざるを得ない。

質問 今後の取り組みは。

答弁 西村建設課長

現在、策定中の耐震化計画において、重要施設や避難所などの重要施設に接続する水道管路について、計画的に耐震化を図っていく。

簡易水道事業会計は依然として厳しい状態であり、財政収支予測等のシミュレーションにより、料金改定の実施時期や改定率などについて慎重に検討する。

避難所における生活用水の確保の取り組みは

質問 避難所への井戸設置の取り組み状況は。

答弁 谷脇総務課参事

各指定避難所を回り井戸の設置が可能か精査を行っており、来年度から設置していきたいと考えている。併せて災害協力井戸の登録も進めている。

買い物支援バスの 取り組み



山中鶴幸議員

答弁 山崎総務課長

金融機関にATM再設置を書面で発し、回答は12月下旬の見込みだ。

質問 その書面は、支店長に手渡しをしたか。

答弁 山崎総務課長

支店長は不在で、行員に文書を必ず支店長にと、申し上げている。

質問 村民の買い物支援送迎バスのコースや停車場所と回数に課題があるが。

答弁 前田企画課長

現在サンシャイン佐川行きと、いの町サニーアクシス行きの運行をしている。4月から新しい地域交通の運行を目指す。

ATM機の設置を

質問 サンシャイン日高店の閉店に伴い、ATMが撤去され、利用者から村が金融機関に設置の協議をと声があるが。

江尻親水公園の整備を

質問 来園者はゼロに近い。目標の世代間を問わないリピート力を持った公園を目指し遊具の整備を。

答弁 西村建設課長

滑り台等の遊具も検討したが、高さ制限があり1m以内に抑え、トイレ等は出水時に撤去、折り

たためる構造とした。大型遊具でなく、自然に親しむ整備を進める。

質問 11月10日、地元の民生委員と若いボランティアがイベントを開催し、参加者から竹林整備を求める声があつたが。

答弁 西村建設課長

昔から地区を強風から守る竹林堤防の経緯もあ

り、最大限竹林を残し整備を進めた。大きな竹林整備計画は現在ない。

質問 竹林の河川側が、造成されているが。

答弁 西村建設課長

基盤整備完了後、多目的広場や管理道が破損し、国に再度整備を求め、年度内に完了予定。

今後は厳格な対応を

質問 村外業者に村道の構造物を不法に破砕されたが、寛大な処理をした。今後は、安易に見られないために厳格な対応を。

答弁 松岡村長

事業者から相談を受けた際に、担当課と行き違いがあつた。事業者は地元住民の賛同が得られず作業を中止している。

子どもへのインフル エンザ予防接種費用 の支援を

質問 村内の子どものインフルエンザ予防接種費用を支援し、子育て世代の経済的負担軽減を。

答弁 藤岡健康福祉課長

現在子どもへのインフルエンザ予防接種は自己負担であるが、国保被保険者の自己負担分を無料にする準備をしている。社会保険等の被保険者については検討している。



親水公園の遊歩道入り口を望む

抱負を聞きました

今井昭人さん

あけましておめでとうございます。

昨年从小村神社前の交流拠点施設（ARUMO410）をオープンしました。地域の皆さんにも喜んでいただける施設を目指して頑張ります。皆さんのご来店をお待ちしています。



岡嘉彦さん・昌さん

葵唯さん・瑛翔さん・紬葵さん

2019年に東京から家族4人で移住してきて、

2025年で6年目がたちます。その間に子どもも1人増え、さらに2025年の1月末にはもう1人増え、総勢6人家族の岡家となります。

日高村に子どもたちの楽しい笑い声が響き渡り、村民と仲良く、楽しい何げない日常を送れることが私たちの願いです。今年もどうぞよろしくお願いたします。



善積志朗さん

68歳の春に、この望ヶ丘団地の自治会長になってしまいました。次期会長の仕事を分割して会長の仕事を減らし、新しい自治会になれば、なお良いなと思い今日までやってきましたが、どうでしょう？ 次期会長にうまく移行できるでしょうか。難しい。

新年69歳の春には、この団地にいる子どもや、お年寄りが遊べて休める公園がほしいと思う。そしてその公園は有事の際に役立つものであってほしいと思う。

でも一番には、家族の健康と幸せが、続くようにと願いますが、私の脂肪肝の改善と中性脂肪の削減、糖尿病の抑制ができるように頑張ろうと思います。やはり自分が一番大切。



黒岩強志さん

小村神社大総代

新年あけましておめでとうございます。

謹んで新春のお喜びを申し上げます。

今年が氏子の皆さん、村民の皆さんにとって、幸多き年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

特集

新年の

まつもと つねのり
松本恒徳さん

令和7年度になる老人抱負の投稿依頼がありました
が、日常にしている3つのことを述べます。

①毎日日記をつけて、自分史(脳活)を作成、終戦の年
から令和2年までの自分史前半を令和3年に取りま
とめ、子どもたちに配布した。今後、令和3年以降
の自分史を作成する。

②元気の源は食事であり(食
活)、昭和57年に日高村に入
居し、平成20年から男の
人料理となり、団地の人に聞
きながら、家事全般が一人
でできるようになりました。

③年齢なりの運動活動(体
活)、集会所の体操やレク
等に参加し、家でも20分ほ
ど軽い運動をする。

おか なおこ
岡直子さんたつき
竜輝さん・ゆうき
勇輝さん

子どもをのびの
びと育てたいと令
和5年8月から縁
あって、日高村に
住んでいます。畑
を大きくし、野菜
などを作って出荷
したい。

おかむら ともひろ
岡村朋浩さん・真里さん

そうまさん・はるまさん・みおさん

自転車でいっぱいあそぶ。ともだちとあそぶ。
はやくきりん組さんになりたい!



健康

はやくきりんぐみさんに
なりたい! みお

ともだちとあそぶ
はやくきりんぐみさん

じてん車でいっぱいあそぶ
そうま

特集

特集

新年の抱負を聞きました

新年の抱負を聞きました

よしだ みつお
吉田 光男さん

小村神社禰宜 ねぎ

あけましておめでとう
ございます。謹んで新春
の祝詞を申し上げます。

今年の抱負として、今
年が氏子崇敬者また里々
の方、村民の皆さんにとつ
て、幸多き年となりますように祈念し、そしてこれま
でと同様に、一日一日を心穏やかで感謝の気持ちを大
切に精進してまいります。



はたやま ひろのぶ
畑山 博信さん

戦争がない世の中になつて
ほしい。世界平和を願って
います。

世の中の流れが早すぎて、
よーついていかん。でも、つ
いていこうとの思いでいっぱ
いです。



トピックス

行政視察の受け入れをしました

- 10月23日 神奈川県開成町議会 研修内容「村まるごとデジタル化事業」
- 10月28日 神奈川県議長会 研修内容「ICT推進事業、村まるごとデジタル化事業」
- 10月30日 東京都日の出町議会 研修内容「地域おこしの取り組み(オムライス街道)」
- 11月7日 東京都八丈町議会 研修内容「村まるごとデジタル化事業」



神奈川県議長会



東京都日の出町議会

特集

議員行政視察研修報告

9月30日から10月2日に行政視察を行いました。

〓 予約型乗合交通〓

京都府伊根町

9月30日、京都府伊根町で予約型乗合交通の研修を行った。

〇令和2年4月防災無線の更新にあたり、町内の世帯にタブレット端末を配布、ネットワーク回覧板の運用を開始。町からのお知らせ等を配信。この端末は、新しいアプリと容易に連携でき拡張性のもの。



京都府伊根町を行政視察

〇令和3年9月から、デマンド交通の実証実験運行を開始。端末を使った予約システムやEV車輛の可否などの実証実験を行った。

〇令和4年4月から、本格運行に入った。

運行区域は、伊根町全域(62km)。輸送対象は住民・観光客ほか。運賃は1運行1人300円。10枚つづりの回数券2千円。運行方法はドアツードアのサービスを基本に乗降ポイントを設定。予約方法は、住民が端末・電話。観光客はWebシステム。

運行車両はEV。オペレーター業務は、伊根町ふるさと公社に委託。各世帯の端末に予約システムを搭載・利用登録を行っている。

〇8月31日現在、住民登録者数1千875人。端

末への登録者1千93人。Webシステムの登録数1千772人となっている。

昨年10月から今年8月末までの利用者はスクー利用利用者数2千569人、一般利用者数1万1千113人の実績となっている。

(森下雅文)

〓 移住定住〓

兵庫県神河町

10月1日、兵庫県神河町で移住定住対策について研修を行った。

出生数が平成25年、26年に約45人と激減した危機的状況から、若者、子育て世帯の人口確保を課題とした。

そこで、結婚を機に転出をストップするため、若者世帯・子育て世帯向けの施策を実施したところ出生数が45人から70人

と増加し、効果は大きかった。

若者世帯・子育て世帯向けの施策には、家賃補助、住宅の取得支援、住宅リフォーム支援、結婚新生活支援、若者世代向け住宅を2カ所、32戸建設し、約10年間で14世帯436人が転入された。

このような取り組みを一般社団法人かみかわ移住定住サポートセンターが行っている説明を受けた。

(横山泰昌)



兵庫県神河町へ行政視察

～SUPER LOCAL SHOP～ とさとさ (KITTE大阪)

10月2日、大阪梅田JPタワー大阪「KITTE」2階フロアに、7月31日にオープンした「SUPER LOCAL SHOP」とさとさの視察を行った。

県から出向の職員と店長から歓迎を受け、その後店舗内で開店するまでの取り組み内容と現況等、丁寧な説明があった。

このビルの2階フロアには、17店舗出店し、そのうち全国から「とさとさ」を含む12店舗のアンテナショップが展開をしている。フロア全体が物産や観光を中心に日本各地のさまざまな魅力を集め発信し、日本の良さを発見・再認識できる構成であった。

「とさとさ」は、「スーパーローカルな」高知の魅力が詰まった面白いパワーがみなぎる新しい田舎の価値を発信。一見地味な日常当たり前の中にあるぜいたく



7月31日にオープンした
SUPER LOCAL SHOPとさとさ (KITTE大阪)

さ、地に足の着いた自然由来の潤いのある生活や食文化を、高知らしい飾らない温かさを届けるひと味ちがった「アンテナショップ」をコンセプトに展開している。

店舗面積約46坪、運営体制は、プロパー3人(店長、スタッフ2人)は、全員高知県出身者)と、アルバイト8人(うち6人が高知県出身者)のメンバーが、高知愛をもって頑張っている。「とさとさ」の店舗内は、午前中にもかかわらず、来店者が満員状態で、商品の魅力発信が重要であると感ずる研修となった。

(山中鶴幸)

表紙の紹介

「二十歳のつどい」が1月12日に開催されました。

山本 乃愛さん(右側)



片岡ひみかさん(中央)



柴岡 珠莉さん(左側)



20歳を迎えられました皆さんに心からお祝い申し上げます。

トピックス



11月13日

町村議会議長会全国大会がNHKホールで開催され出席した。



10月25日

令和6年度トップセミナーが県民文化ホールで開催され、受講した。

特集

少子化対策特別委員会が 島根県飯南町・奥出雲町へ行政視察

11月19日～20日

島根県飯南町

『子育て世代が住みたい田舎』第1位の島根県飯南町を訪問し「少子化対策・子育て支援」について説明を受けた。

人口は約4千400人で日高村より少ないにもかかわらず、令和5年度一般会計決算額は約90億円、日高村の約1.7倍で、その要因は合併特例債の有効活用にあるようだ。豊富な予算により、さまざまな特徴ある施策を実施し、近年は毎年人口の約1%が移住し、その約半数が30代夫婦とその家族であった。

特徴的な施策として、定住を進める上での住宅確保では、セミオーダー住宅(定住促進賃貸住宅)の建設に取り組んでおり、家賃4万円/月で25年賃貸後に土地建物の所有権を譲渡するもので、これまでに32棟136人(うち子ども72人)の実績がある。

子育て支援策も豊富で、必要な施策として

1. 子育て世帯の経済的負担の軽減
2. 子育てに関する相談体制の充実

3. 地域ぐるみで子どもを育てる環境づくりを柱に、結婚・出産・子育ての希望を叶えられる環境づくり

に取り組んでいた。

飯南町では、人口減少・少子化に対する危機感とそれを克服するという町長の強い思いが職員と共有され、豊富な施策の立案実施につながっているように感じられた研修であった。

(大川内慎治)

島根県奥出雲町

奥出雲町は、人口約1万人で65歳以上の人口が5千100人、高齢化率45・95%の山間の町である。

令和6年度一般会計予算総額は15億4千万円で、日高村と比べると、かなり多い。その中でも人口、少子化問題についての予算は、首長の意向が強く反映され、多額の予算が付けられている。

今回は移住定住、関係人口創出、結婚支援、子育て支援についての説明をいただいた。の中で暮らしサ



島根県飯南町を行政視察

ポートセンターを中心に、子育て支援は多岐にわたる。住まいのサポート、就労のサポート、暮らしのサポートに多額の予算を費やしている。また、特筆すべきは、関係人口創出、拡大プロジェクトである。専門の職員と事業委託している事業所がこのプロジェクトに関わっており、町内の地域づくり団体やキーパーソンと大都市圏在住の個人や企業をつなぎ、より良い共創の形を生み出し、「関係人口」と「関わりしろ」をつくり出している。

そのスタイルはニューノーマル時代に合わせたデジタルの強みを生かしたオンラインセミナーと現地訪問のリアルな体感を通して、価値を作るツアーとのデジタルとリアルを合わせたハイブリッドスタイルで、この事業についての熱量はすべての課につながっていて、多くの実績を上げている。

日高村でも参考になることが多くあり、関係人口については、反省することが多くあると感じた。

(藤原利彦)

編集後記

昨年の元日に発生した能登半島地震、揺れと津波により能登地方を中心に大きな被害が発生し、多くの方が避難所生活を余儀なくされた。その夏、日本列島が沸騰する中、能登地方では豪雨による被害が復旧に追い討ちをかけた。これらのことは、決して他人事では済まされない。南海トラフ巨大地震では、わが日高村においても、家屋の倒壊や土砂崩れによる孤立集落の発生など大きな被害が予想されている。

能津地区で行われた防災訓練では、能津小学校と鴨地・大花地区の情報伝達訓練やドローンでの物資輸送訓練のほか地域主催の防災クイズなどに多くの方々が参加された。私たちは、自然の脅威に立ち向かうことはできないだろう。でも備えることはできる。

(大川内慎治)



能津小学校から鴨地集会所へ物資30kgの輸送訓練(能津地区防災訓練)

議会を傍聴してみませんか

次の定例会は3月6日(木)午前10時に開会の予定です。

お気軽に傍聴に、お越しください。

議会広報発行調査特別委員
会へのご意見・ご提言を、よろしくお願い申し上げます。

発行責任者

議長 池田 雄

「日高村議会だより」は、資源保護のため再生紙を使用しています。